

株式会社株式会社直江津油脂における 油水分離システムの背景と現状報告

株式会社株式会社直江津油脂
代表取締役 佐藤隆義

会社概要

- * 社名 株式会社株式会社直江津油脂
- * 会社創立 昭和50年1月
- * 所在地 新潟県上越市東中島2447
- * 代表 佐藤隆義
- * 事業内容 食用油脂製造業、食肉処理業、
惣菜製造業、産業廃棄物中間処理業
産業廃棄物収集運搬業
コインランドリー運営
- 資本金 1000万円
- 取引銀行 大光銀行、八十二銀行、第四銀行、
商工中金、上越信金

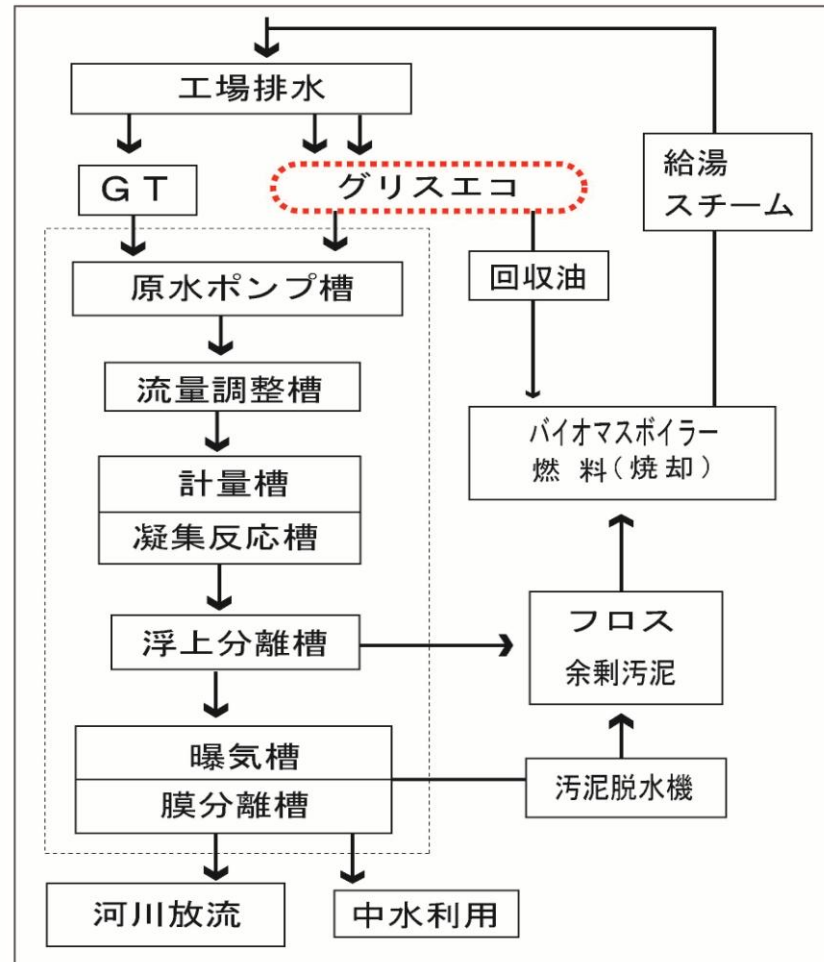
営業品目

- * 食用動植物油脂・・・動物性各種オイル、各種香味油
- * 洗淨豚脂、牛脂・・・餃子等各種冷凍食品、ソーセージ等の原料
- * 食肉加工処理・・・各種食肉加工処理、内臓肉加工
- * スープ用骨材加工・・・中華スープ用ダシ取り用

会社沿革

- * 昭和50年1月 創業。ラード、ヘットの製造を始める
- * 昭和57年11月 現在地に移転、西工場竣工。
- * 昭和58年8月 株式会社に組織変更
- * 昭和59年1月 東工場竣工
- * 平成 9年6月 新東工場。スープ用骨材本生産開始
- * 平成14年6月 新西工場竣工
- * 平成18年8月 新潟県経営革新計画承認
- * 平成21年2月 エコアクション21承認
- * 平成21年6月 第3工場増設、浄化槽増設、敷地拡大
- * 平成24年1月 炎にめぐみ肥料登録

工場排水の流れ



〔図-1〕 設置フロー図

ボイル前の鶏ガラ



旧工場での油水分離機



鶏ガラボイル中



ボイル後の冷却水



油水分離機に煮汁が入ってくる



油水分離機で油を回収



油水分離機で油を回収



回收油



鶏ガラをボイル後、凍結、圧縮加工



がら丸シリーズ



創設後の浄化槽



浮上汚泥をバイオマスボイラーに移送



スクリーコンベアで汚泥をバイオマス ボイラーに移送



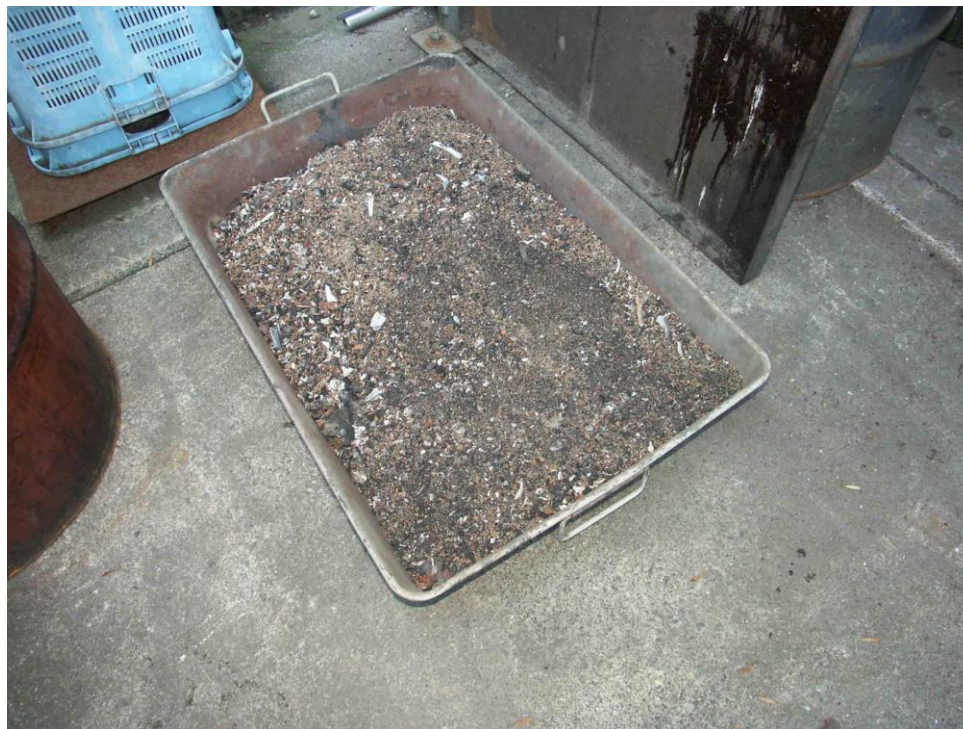
浮上槽から落とされた汚泥



バイオマスボイラーの燃焼状態



焼却灰の状態



浄化槽の処理水



浄化槽の処理水



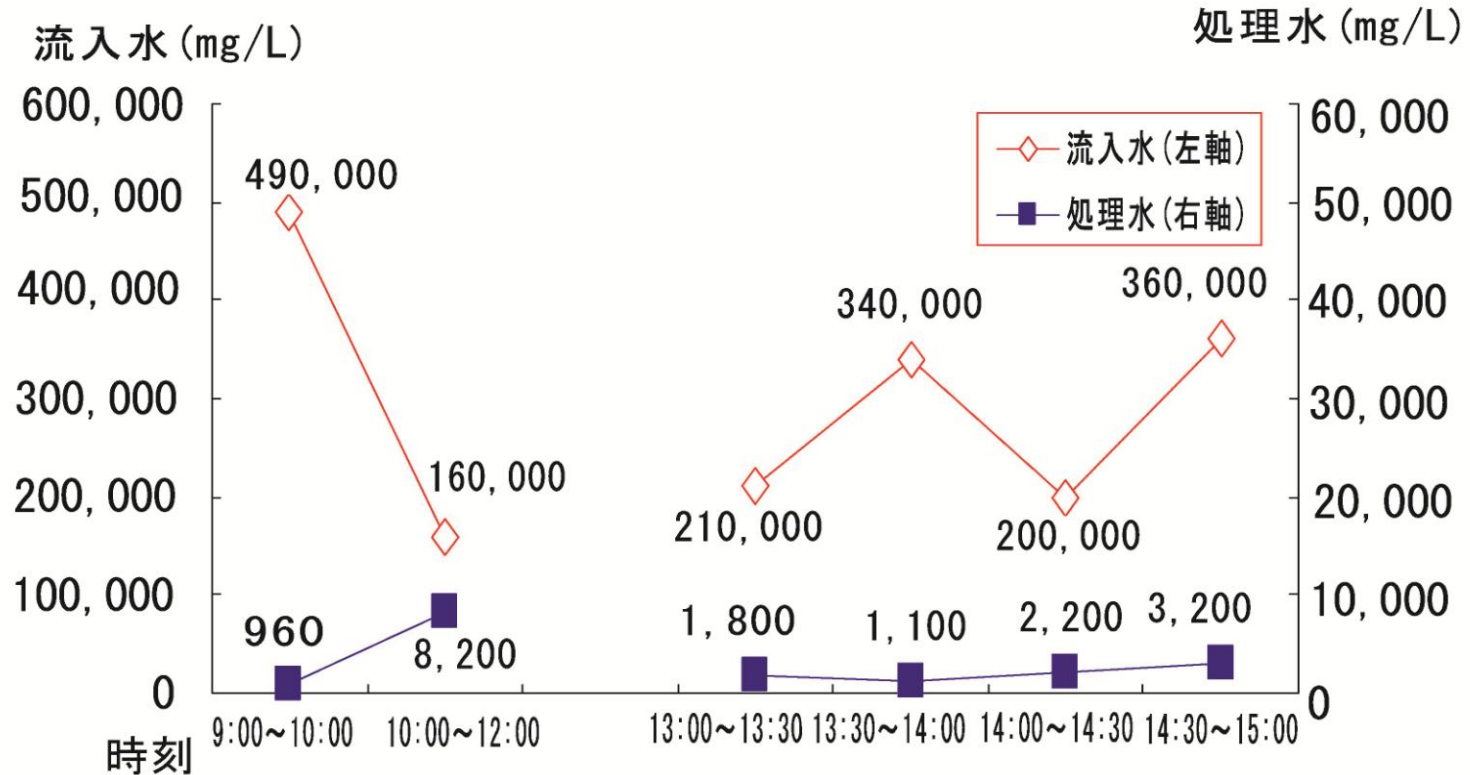
処理水を融雪に利用



70度以上の湯が1日約4m³作れる



鶏ボイル工場の実証値



〔図 - 3〕 処理水水質濃度 (n-Hex)

【表 - 1】 加圧浮上槽処理水濃度

採水日時	n-Hex (mg/L)	BOD (mg/L)
11月24日 12:10	88	1,130
11月25日 13:15	130	929
11月26日 14:30	19	887

【表-2】 膜分離処理後（最終放流水）の水質濃度

採水時間	n-Hex	BOD	SS	pH	全窒素	全リン
11:00	2.5 未満	0.6	10 未満	6.5	24	20
12:00	2.5 未満	0.5 未満	10 未満	6.5	25	20
13:00	2.5 未満	0.5 未満	10 未満	6.5	24	20
14:00	2.5 未満	0.5 未満	10 未満	6.6	23	19
15:00	2.5 未満	0.5 未満	10 未満	6.7	21	19
16:00	2.5 未満	0.5 未満	10 未満	6.8	20	19

測定日：平成22年11月25日（単位：mg/L）